

パデコ



バンングラデシュのお祭り



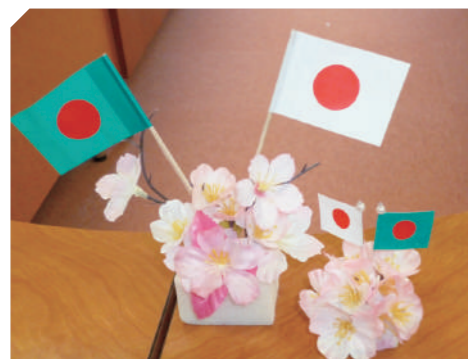
経済 / 社会開発部
シニア・コンサルタント
荻野 久美子さん
(40歳)
Ogino Kumiko

Check

成長する日本発の国際コンサルティング企業

(株)パデコはアジア開発銀行 (ADB) など国際開発金融機関からの受注実績で常に国内トップクラスにランクされる“日本発の国際コンサルティング企業”だ。近年は国際協力機構 (JICA) を柱に、国際開発金融機関や国際機関、さらに現地政府という3つのクライアントに営業基軸を据え、運輸・交通、教育、財務・金融、環境など多分野における計画策定などのソフト分野から、地下鉄や港湾整備などインフラ事業のハード分野まで充実したサービスを提供している。ハード分野のトピックとしては、大型の円借款事業として推進されているインド最大の商業都市ムンバイの「ムンバイメトロ3号線建設事業」に、AECOMアジア (香港)、LOUIS Berger (米)、Egis (仏) とともに国際コンサルティング4社連合を形成していることは、世界レベルの同社の実力を裏付けていると言える。

事業領域の拡大に伴い、近年はリクルート活動を強化しており、技術的にも意識的にもプロフェッショナルなレベルに達している人材、豊富な海外および開発コンサルタント経験のある人材を特に求めている。案件ベースの短期契約を前提にアソシエイト登録することも可能だ。



company data

株式会社パデコ
PADECO Co., Ltd.
〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル5F
海外事務所：バンコク、ジャカルタ、ダッカ、ハノイ、ムンバイ、トビリシ、ロンドン、プラレスト
設立：1983年1月 資本金：1億500万円 従業員数：130人 (2016年7月現在)
代表者：代表取締役社長 本村雄一郎
事業分野：運輸・交通、鉄道、港湾、道路、教育・人材開発 / 人材育成、都市・地域開発、観光開発、環境・エネルギーなど

recruitment

新卒採用：あり 中途採用：あり
募集職種：コンサルタント (教育、道路開発、鉄道、人材育成 / 社会開発、都市計画など)、海外プロジェクト実務管理
募集人数：随時募集
TEL : 03-5733-0855 (代) FAX : 03-5733-0856
E-mail : admin@padeco.co.jp
URL : http://www.padeco.jp/

Career Path

- Age 22 立命館大学文学部文学専攻卒業、民間企業に就職
- 27 英ロンドン大学教育研究所修了 (教育、ジェンダー、国際開発専攻)。パデコ入社、コンサルティング第3部プロジェクトコンサルタント
- 34 クラウンエイジェンツ日本事務所に就職
- 35 パデコに再入社、経済/社会開発部シニア・コンサルタント。バンングラデシュ「TQMを通じた公共サービス改善プロジェクト」などに参画

国内業務に注力する背景には、家庭の事情もあります。家族との時間を十分に持ちたいと考え、海外出張も3週間は超えないことを基本に会社と相談しながら、自主

的に調整しています。専門性の向上にさらに努め、一方で家庭と仕事のバランスをうまくとりながら、開発協力事業に長く寄り添っていきたいと思っています。

国内・海外双方向の開発を視野に

実 家がホームステイ・ファミリーとして留学生のお世話をしてきたこともあり、子どもの頃から外国人と触れ合う環境で育ちました。留学生の方々から日本の歴史や文化などについて質問されると、それにほとんど答えられない自分に気付きました。大学で日本文学を専攻した背景には「日本のことをしっかり学び、外国の人に日本のことを伝えられたら楽しいだろうな」という思いがあったからです。

大学卒業後、民間企業を経てカナダに語学留学し、開発系の領域を学べる英国大学院への留学を決意したのは、専門性を深めて、日本の高度な技術や知見などを世界の課題解決につなげられればと考えたからです。また、海外で得られた経験や知識を、例えば海外で成果が出た手法を日本の地域振興事業にも取り入れるなど、国内の課題解決に生かしたいとも思いました。当社入社後は、教育・人材育成分野

を中心に業務経験を積み上げてきました。ここ4年半は国際協力機構 (JICA) の技術協力案件であるバンングラデシュの「TQM (トータル・クオリティ・マネジメント) を通じた公共サービス改善プロジェクト」に副総括として携わっています。行政官が市民の立場に立って良質なサービスを継続的に提供できるように、トヨタなど日本企業が実践して成果をあげてきた「カイゼン」 (KAIZEN) 活動を、現地の公共オフィスなどで普及・促進しています。

私は主に研修カリキュラムの開発・実施を担当しており、日本国内の複数の地方自治体と連携しながら、バンングラデシュ関係者を交えた事例発表会などのイベント、セミナー開催を通じて、経験やノウハウの共有化を図っています。日本国内での作業も多く、地方のリソースを発掘するための調査業務など、国内アサインメントを積極的に増やしています。